

科目名	ドイツ語基礎Ⅱ A, B	形態	演習	開講期	秋学期
担当教員	越智 フェリシタス	単位	1	年次	1

＝授業科目の目標＝

春学期に引き続き、文法の基礎を理解し、ドイツ語による短い対話をとおして、ドイツ語をよりよく運用できるようになることが授業の目標となります。その関連で必要となる発音の基本的規則が習得され、ヒヤリング能力が高まることとなります。さらに会話だけでなく、正しい発音で短い文章を読み、内容を理解できるようになることも到達目標に含まれます。以上の目標に加え、ドイツの日常生活を通じた文化事情についてさらに情報を提供することで、ドイツの歴史や文化に関心を持ち、日本とドイツの文化の違いについて考えられるようにすることを目指します。

＝履修の条件と学習の方法＝

春学期に引き続き、自宅で発音練習を繰り返すことが重要です。授業で扱う短い対話も、文字に頼らなくて済むよう暗記すること。秋学期においては特にイントネーションを重視するので、家で声を出して朗読することは不可欠となります。言葉を文字で追うのではなく、音声としてとらえる姿勢が肝要です。授業時間内は、教室の中が小さなドイツ語しか通用しない世界だと思い、日本語による無駄話などは極力避けて、授業に集中すること。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 春学期の復習・自分と友人たちの紹介
- 3回 パーティーの準備：分離動詞と非分離動詞の現在人称変化・副文
- 4回 ドイツの学生のインタビュー：どんなときにパーティーをするのか（DVD）
- 5回 レストランにて：話法の助動詞の現在人称変化
- 6回 ドイツの学生のインタビュー：タバコとアルコールについて（DVD）
- 7回 旅行する：動詞の三基本形・過去形
- 8回 ドイツの学生のインタビュー：趣味について（DVD）
- 9回 運転免許：現在完了・非人称esの用法・時刻の言い方
- 10回 ドイツの学生のインタビュー：運転免許の取り方について（DVD）
- 11回 ドイツ人の家：形容詞の変化、比較級と最高級
- 12回 ドイツの学生のインタビュー：ハウスシェアーについて（DVD）
- 13回 大学入学：受動態と再起動詞の現在形と過去形
- 14回 ドイツの学生のインタビュー：進路について（DVD）
- 15回 秋学期のまとめ・復習

＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業中の平常点と学期末に行う筆記試験を、以下の割合で総合的に評価する。

- ・平常点（50％）の内訳：毎回の出席状況：30％、授業に意欲的に貢献しているか：20％、ドイツ語の発音、アクセント、イントネーションの正確さ：20％、ドイツ語による質問を正しく理解し、それに答えられる力：30％
- ・学期末筆記試験：50％

＝テキスト（必携）＝

書籍名：ぼくらの未来－映像と会話で学ぶ初級ドイツ語

著者名：萩野蔵平、Andrea Raab、石井寿子

出版社：朝日出版

出版年：2012年

価格：2500円＋税

ISBN978-4-255-25353-4